

登録コード	E2650900	開講年度	2026				
授業科目	生理学基礎					担当教員	
英文授業名	Basic physiology					副担当	結城 匡啓・瀧 直也・渡辺 敏明・寺沢 宏次
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生	2 年生
講義室	教育E 2 0 1		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	日常生活でみられる身体の働きと特別な環境下の身体適応変化について疑問を持ち、自ら調べて理解し説明できるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	人体にみられる生命現象のメカニズムを組織・器官ごとに理解し説明できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	生理学は生体の示す様々な生命現象の機序(メカニズム)を研究する自然科学であり、physiologyはもともと「身体の学」という意味を有している。本講義では、多彩な人体機能の中で組織や器官としての筋肉・神経・循環・呼吸・体液調節に関する基礎知識を学ぶ。併せて身体活動時の応答・適応変化についても学ぶ。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス、講義の進め方、生理学の基本的概念 第2回：骨格筋の構造と働き 第3回：骨格筋の変化 第4回：神経系と感覚(1) 第5回：神経系と感覚(2) 第6回：呼吸器の構造と働き 第7回：呼吸機能の調節 第8回：循環器機能のしくみと働き 第9回：心血管系機能のコントロール 第10回：血液の成分・作用と免疫系の働き 第11回：尿生成と内部環境の調節 第12回：内分泌腺とホルモンの作用 第13回：体温調節のしくみ 第14回：運動の生理学、エネルギー代謝 定期試験：授業のまとめとテスト、授業アンケートの実施						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 授業の達成目標「生命現象のメカニズム理解」の到達度を測るレポート 20点 授業の達成目標「身体のはたらきと適応変化」の到達度を測る小テスト 20点 授業全体の到達度を測る期末筆記試験 60点						
(7)成績評価の基準	レポートは、授業の達成目標に沿って基本的な専門用語や概念を理解しており提示したテーマを説明する際にふさわしい用語や表現の仕方ができていること、小テスト及び期末試験は得点、さらに日頃の受講態度を総合して以下の評価基準に照らして判断する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	・隔週で授業テーマに関するまとめレポートを予習復習課題として作成して提出すること。 ・授業内容の理解を問うまとめシートを配布する。シートを記入して毎回復習して次の授業に臨むこと。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	授業外学修ではインターネット検索やA I を利用しても構わないが、内容の裏づけとなる参考書や出典・参考文献を示しつつ取り組むこと。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室電話番号：0263(48)7335 e-mail：kaoru.yamamoto@t.matsu.ac.jp						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	オックスフォード生理学.岡野ら監訳.丸善出版.2015. 9800円 からだが見える第1版.医療情報科学研究所.メディックメディア.2023. 3900円 改訂版運動生理学の基礎と発展.春日ら編著.フリースペース.2006. 2500円						